

O's news



2018年9月1日発行

血圧高くないのに脳出血

副院長 久我 純弘

脳出血の原因の約7割は高血圧症が原因と言われています。その他の原因としては脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳腫瘍、アミロイド血管症、などがあります。

今回はこれらの中で若い人で高血圧がないのに脳出血の原因となる脳動静脈奇形(AVM)について紹介します。

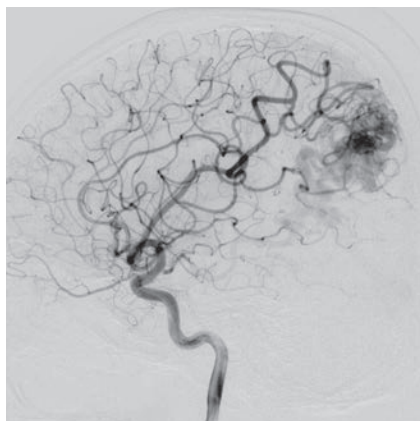
通常、血液は動脈から毛細血管を経て静脈へと流れますが、AVMでは異常な動脈と静脈がひとつかたまり(ナイダスnidus)になっていて毛細血管がなく、流入動脈から直接静脈へと流れ込みます。(図1・2) 成長、加齢に伴いAVMに注ぐ血管は少しずつ増加し、動脈血流が増加し静脈は拡張蛇行し、奇形自身も少しずつ大きくなります。

従来、好発年齢は10-20才代で、多くは50才までに発症すると言われていましたが、最近では高齢者でもAVMによる出血が少なくないと言われています。最も多い症状は脳内出血によるもので、出血した部位により、片麻痺、言語障害、視野障害、感覚障害、意識障害などを生じます。次に

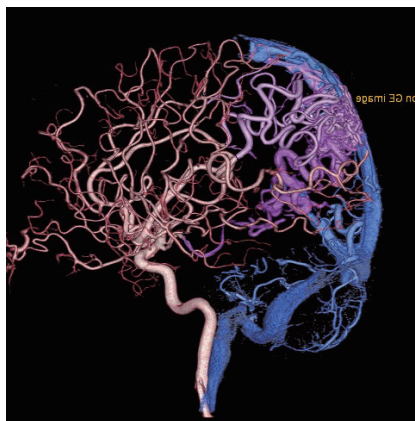
多いのがてんかん発作でAVMの部位により症状は様々です。典型的な場合は片方の手または足から生じ全身にけいれんが広がります。くも膜下出血を生じることもあります。脳動静脈奇形の出血率は年間2%前後ですが、出血した場合の死亡率は20-30%と高く、生存しても20%以上で重度の後遺症が残ります。

出血予防のためにはAVMの摘出術が望まれますが、AVMの大きさや形状、部位(重要な脳の機能のある場所かどうか)、流出静脈が脳深部への静脈かどうか、出血したかどうか、年齢など多くの事を考慮してどのような治療を行うか決定します。安全な摘出を行うために、手術を行う前に流入動脈を血管内治療によってコイルや塞栓物質で閉塞させる塞栓術を行うことも多くあります。場合によってはガンマナイフという放射線治療を行うこともあります。

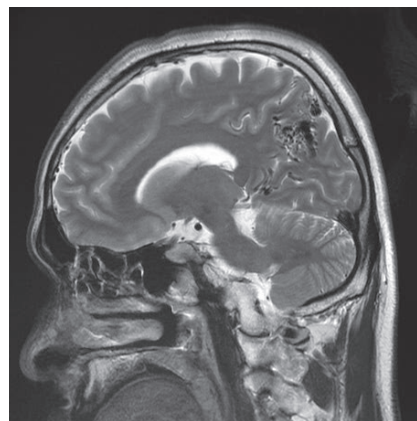
MRI(図3)で容易に診断できますので、出血前に検査し、治療できると大きな障害を回避することができます。



(図1:血管撮影)



(図2:3D Fusion Image)



(図3:MRI T2 矢状断)



第8回 オープンホスピタルを終えて

医療技術部副部長 吉野 孝広

2011年に地域貢献の一環として始まったオープンホスピタルを今年も例年通り8月に開催しました。64名の参加者を8グループに分け各部署が企画した見学や医療系模擬体験を行いました。楽しみながら脳神経外科病院で働く職種を理解して頂くことやこれから医療従事者を目指す若い方々への動機付けが具体的な目的です。

7月に入り準備委員を立ち上げ第1回目会議を開催し、その後開催まで毎週会議を行いました。見学体験のルート変更やグルーピング、受付方法や当日の設営など準備委員会メンバー、当日スタッフの方々には時間を惜しまず協力して頂きました。また見学体験コーナーにかかわったスタッフはどうしたら参加者が自分たちの職種を理解してくれるのか、興味を持ってくれるのか考え企画しました。当日は実践さながらの模擬体験や熱意のある説明で参加者にも思いは伝わったのではないのでしょうか。このオープンホスピタルを通じて近い将来、参加していただいた方々が医療の現場で活躍していることを私たちは望み、これからもオープンホスピタルをより良いものとしながら続けていきたいと思ひます。



ながつき
長月 長かった夏の暑さもようやくおさまり、朝晩涼しい風が吹きます。
日暮れが早まり、夜が長くなっていく月「夜長月」が「長月」となりました。

十六節気
処暑
しよしよ

9/2~7(第四十二候) 禾乃登 / こくもつすなわちみのる

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」日本の豊かさをしみじみと感じる風景です。食物繊維やビタミンCを多く含むさつまいも♪中国から宮古島へその後九州へ渡り「薩摩の芋」として定着。干ばつに強く収穫量が多いので江戸時代に全国に広がり凶作を救いました。

十七節気
白露
はくろ

9/8~12(第四十三候) 草露白 / くさのつゆしろし

日中の寒暖差により、草花に白く光る白露がみられます。9月9日は重陽の節句。旧暦で菊が咲き始めるので「菊の節句」とも。前夜、菊の上に綿をかぶせ香りの露を含ませる「被綿」、その綿で体をぬぐい邪気を祓う風習がありました。

小さな秋をそこかしこに感じる頃です。「秋桜」が風に揺れます。



9/13~17(第四十四候) 鶺鴒鳴 / せきれいなく

病院でも慣じみの深い「せきれい」が鳴きます。「秋刀魚」のおいしい季節、焼きさんまに大根おろしとすだちをキュッ♪秋の味覚ですね。
江戸時代は下々の食べる魚として上流階級の人には口にしなかったそうです。古典落語「目黒の秋刀魚」は、そのおいしさを目覚めたお殿様が登場します。



9/18~22(第四十五候) 玄鳥去 / つばめさる

小さかった子つばめも成長し、南方へ数千キロを渡ってゆく頃です。秋の七草の一つ「葛の花」。マメ科の多年草で趣のある紫色の花です。根からとれる澱粉が「葛粉」で葛湯や葛餅に、また細かく切った根を乾燥させ煎じたものがあの「葛根湯」です。



十八節気
秋分
しゅうぶん

9/23~27(第四十六候) 雷乃収声 / かみなりすなわちこえをおさむ

夕立を招く入道雲も見えなくなり、雷様がなりをひそめ、秋の高い空が広がり、季節の変わり目です。秋のお彼岸の頃真っ赤に咲く「彼岸花」強い毒を持ちます。「この花を見ると、おのずから悪業を離れる…」といわれるのも納得するような ^_^



9/28~10/2(第四十七候) 蟄虫坏戸 / むしかくれてとをふさぐ

「虫が(土に)かくれて、扉をふさぐ(土の中にもぐる)」この表現は、日本人の素敵な感性ですね。新米のおいしい季節♪新米は水分を吸いやすくやわらかくなりやすいので、いつもより水加減を少なめに。



今月の花 **ハゲイトウ**

分類: ヒユ科 一年草
原産地: 熱帯アジア

観賞時期: 8~11月
花言葉: 「不老不死」「情愛」



葉鶏頭は鮮やかな赤や黄色の葉を楽しむ日本の夏のカラーリーフの代表です。ケイトウと名前はついていますが、鶏のとさかに似た花を次々と咲かせるケイトウはケイトウ属、ハゲイトウはヒユ属に分類され違う植物です。スーパーフードとして注目されている「アマランサス」はハゲイトウの仲間です。移植を嫌う植物なので、苗を植え替える時は、根をくずさないよう注意が必要です。気温が下がってくる程、発色がよくなり鮮やかに♪



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	—	第4金曜日
	午後	高橋	前岡	角田	—	てんかん外来 田村
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	小坂	松岡
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	—
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	—	神経内科 赤谷	内科 竈門(カマド)	—
	午後	—	—	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H30.9)

連携協力医療機関のご紹介(No.158)

医療法人社団 あおぞら会

にしかげ内科クリニック

院長:西影 裕文

【認定資格】総合内科専門医・糖尿病専門医・腎臓専門医・腎臓指導医・透析専門医

【診療科目】内科・糖尿病内科・腎臓内科(人工透析)

【住 所】兵庫県神戸市垂水区千鳥が丘3丁目19-9

【電 話】078-706-6500

西影院長からのメッセージ

地域の皆様の健康に関してお役に立てるよう、スタッフ一同力を合わせて頑張っています。往診、訪問診療も可能です。管理栄養士が多数在籍しており個別栄養指導も可能です。糖尿病教室や腎臓病教室、たいそう教室など楽しく学べるさまざまな健康教室を開催しています。

診療時間(外来)	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(16:00~19:00)	○	○	○	/	○	/	/

※休診日:木曜の午後・土曜の午後、日曜・祝日

診療時間(人工透析)	月	火	水	木	金	土	日祝
午前透析	○	○	○	○	○	○	/
午後透析	○	/	○	/	○	/	/

※夜間透析は現在は行っていません。



連携協力医療機関のご紹介(No.159)

福井医院

院長:福井 亮介

【認定資格】日本内科学会認定医・日本循環器学会専門医

【診療科目】内科・皮膚科

【住 所】兵庫県神戸市西区井吹台西町4-4-2

【電 話】078-996-9991

福井院長からのメッセージ

いつも急な患者様の受け入れをしてくださり、大変助かっております。また、重症でない患者様も1日でほとんどすべての検査をしていただけるので助かります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

診療時間(内科)	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(16:30~19:00)	○	○	○	/	○	/	/

診療時間(皮膚科)	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:30~11:30)	●	/	/	○	/	/	/
午後(16:30~18:30)	○	○	/	/	/	/	/

●はH27年7月より診察日が変更になりました。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

